

比較地域特殊研究

担当者 石川 雄一

開講時期 通年

単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

博士後期課程3年間の研究計画を作成し、下記の講義計画に即した講義（演習）を行い、博士論文の作成指導をします。

●講義の到達目標

博士論文のテーマを設定するために多くの参考文献・先行研究を精読・レビューしながら、博士論文の研究課題を確定します。そして、この研究課題に即した研究を計画的かつ着実にを行い、博士論文の骨格となる研究論文を完成させることを目標とします。

●講義計画

1年目は、基礎的な参考文献と先行研究を精読・レビューして、研究テーマに関する知識を得るとともに当該研究の進展についての学習をふまえて、博士論文の課題を確定します。

2年目は、設定した上記の課題に関する先行研究に基づいてさらなる学習をします。そして博士論文で研究対象とする地域の現地調査の準備と予備的な調査をします。また、関連学会において研究発表ができるように準備を行います。

3年目は、本格的な現地調査を行い、その結果を分析し、博士論文の完成をめざします。この過程のなかで、関連学会での研究発表を行います。

●成績評価基準と方法

1 授業時のレポートの作成・発表（50％）

定期的に（年4回）研究の進捗状況をレポートにまとめて発表してもらいます。

おおむね1年間で1本の論文が完成できるように進めてください。

2 年度末に提出する研究レポート（50％）

年次ごとに、年度末に、研究成果を整理し論文としての形式でまとめてもらいます。

上記の2項目により総合的に評価します。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕なし

〔参考文献〕授業時に指示します。

●受講上の留意点

1～2年次では、研究課題に関する参考文献・先行研究を事前に精読して、レポート（要旨）を作成し、授業時に報告することをおもな講義内容とします。年度末には研究レポートを提出すること。